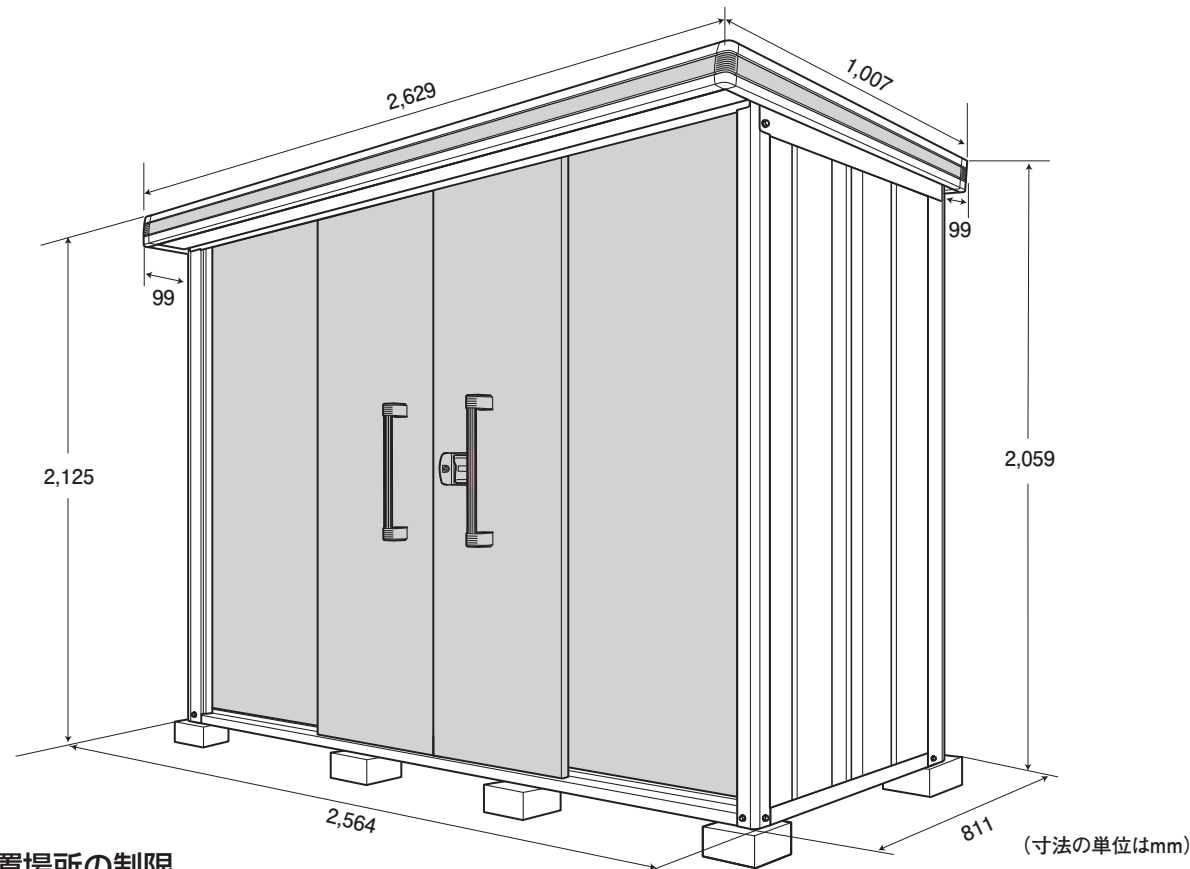


ヨド物置エルモ

組立説明書 LMD-2508型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
- 組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆがみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機 種		2508 型
部 品		
枠	上枠前後	LM5-0151
	下枠前後	LM5-0206
	上枠左右	一般型 LM5-0256
	下枠左右	一般型 LM5-0308
柱	一般型	LM5-0309
	積雪型	LM5-0351
間柱	一般型	LM5-0413
	積雪型	LM5-0413
扉	一般型	LM5-1106
	積雪型	LM5-1106
床	一般型	LM5-0704
	積雪型	LM5-0704
屋根	一般型	LM5-0904
	積雪型	LM5-0904
壁	一般型	LM5-1001
	積雪型	LM5-1004
袖壁	一般型	LM5-1021
	積雪型	LM5-1021
扉	一般型	LM5-1056
	積雪型	LM5-1056
棚板	一般型	LM5-1901
	積雪型	LM5-1901
合計	一般型	16
	積雪型	17

●梱包内容表

●部品		●型		●間柱	
LM 5-0151		LM 5-0351		LM 5-1403	
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 間柱固定金具	4	ELD 下枠側 A1.0 (左)	1	ELD 間柱 前 L	2
ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15	9 (1)	ELD 下枠側 A1.0 (右)	1	ELD 間柱 後 L	3
ELD 上枠前連結金具	1				
床押え金具③	1				
屋根止金具 KN	3(3)				
T 型レール	1				
ELD アンカープレート (L)	4				
ELD 屋根側間柱止 A	3				
ELD 屋根側間柱止 B	1				
ボルト M6×15 (白)	143 (8)⑤				
組立説明書	1				
取扱説明書	1				
保証書 5 年	1				
※取組の () 内は一般型及び積雪型の () 内は一般型、 () 内は積雪型の予備数を表しています。					
●上枠前後		●床		●屋根	
LM 5-0206		LM 5-0704		LM 5-0904	
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 上枠前 OD-A3.5	1	ELD 床板 A1.0	7	ELD 屋根 (35) A1.0	1
ELD 上枠後 A3.5	1			ELD 屋根 (70) A1.0	3
●下枠前後		●袖壁		●扉	
LM 5-0256		LM 5-1056		LM 5-1106	
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 下枠前 OD-A3.5	1	ELD 袖壁 L-E	2	ELD 扉前 A3.5	1
ELD 下枠後 A3.5	1			ELD 扉後 A3.5	1
ELD 床押え A3.5	2				
●上枠左右		●間柱		●扉	
LM 5-0308		LM 5-0309		LM 5-1106	
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 上枠左 A1.0	1	ELD 上枠左 A1.0	1	ELD 扉前 A3.5	1
ELD 上枠右 A1.0	1	ELD 上枠右 A1.0	1	ELD 扉後 A3.5	1
(「一般型」ラベル貼付け)					
LM 5-0309		LM 5-0309		LM 5-1106	
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 上枠左 A1.0	1	ELD 上枠左 A1.0	1	ELD 扉前 A3.5	1
ELD 上枠右 A1.0	1	ELD 上枠右 A1.0	1	ELD 扉後 A3.5	1
(「積雪型」ラベル貼付け)					

○部材名称にはA1.0、A3.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆめめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

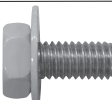
●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 8ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上) 4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立

●使用ビス一覧

	ボルト(白) M6×15		ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15
---	-----------------	---	-------------------------------

●アンカー工事について

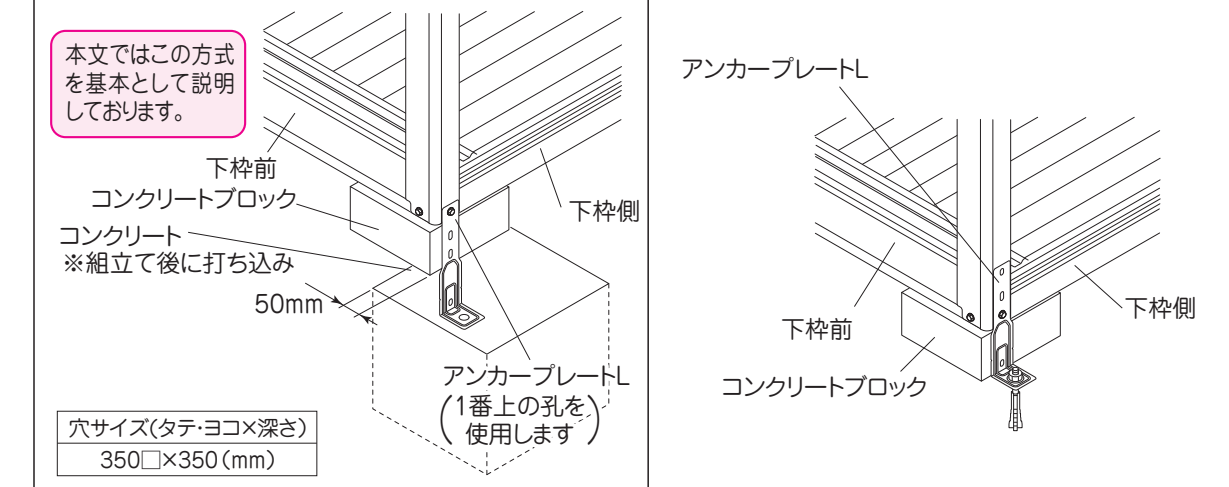
アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。



内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

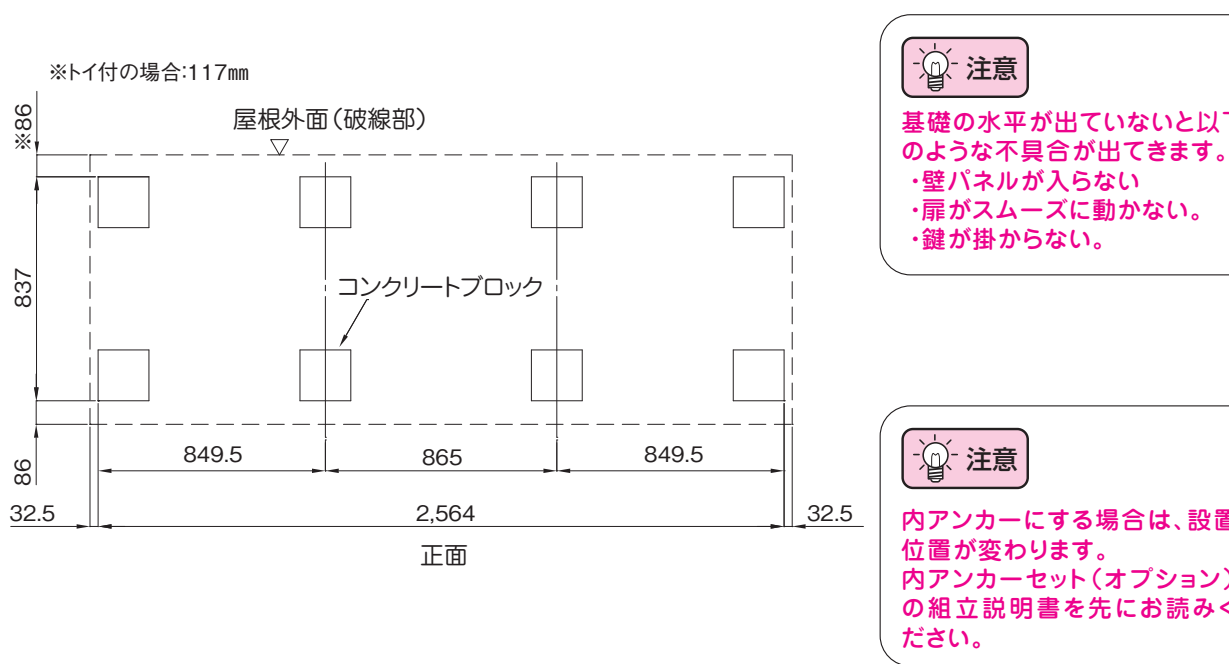
4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

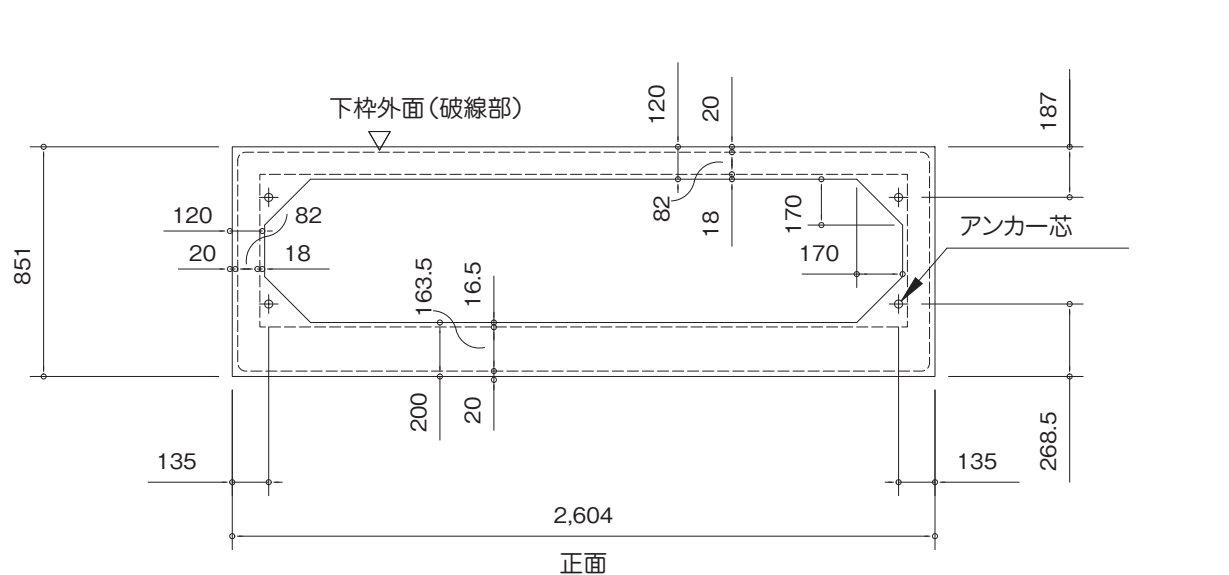


基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。



内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。
内アンカーセット(オプション)の組立説明書を先にお読みください。

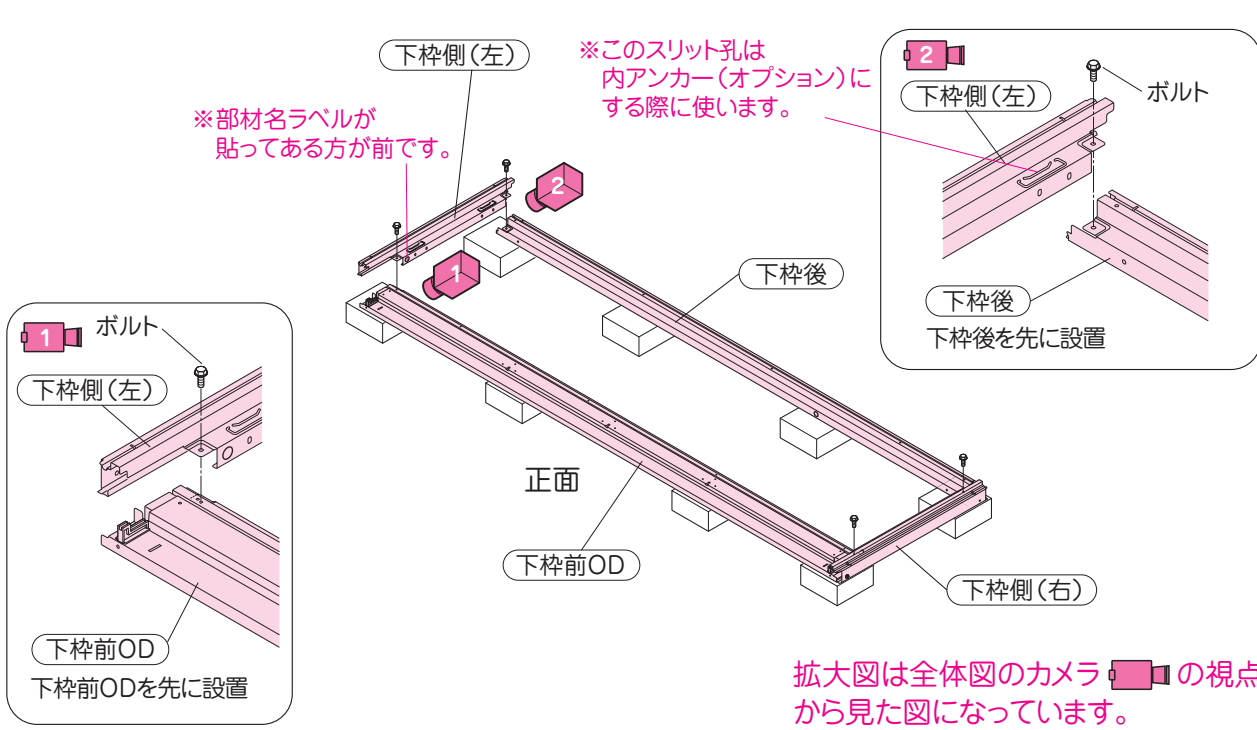
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション) 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

2 下枠の組立

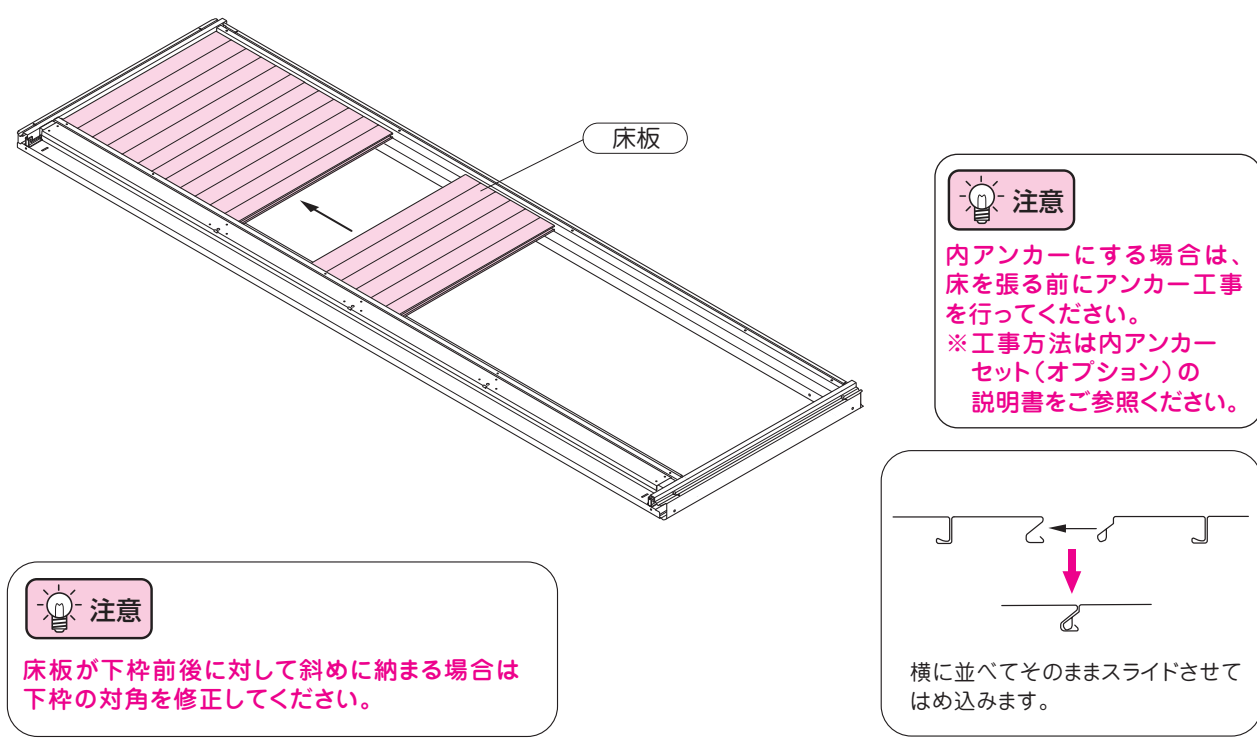
- ①(下枠前OD)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前OD)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。



拡大図は全体図のカメラ①の視点から見た図になっています。

3 床の設置

- ①(床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。



床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。



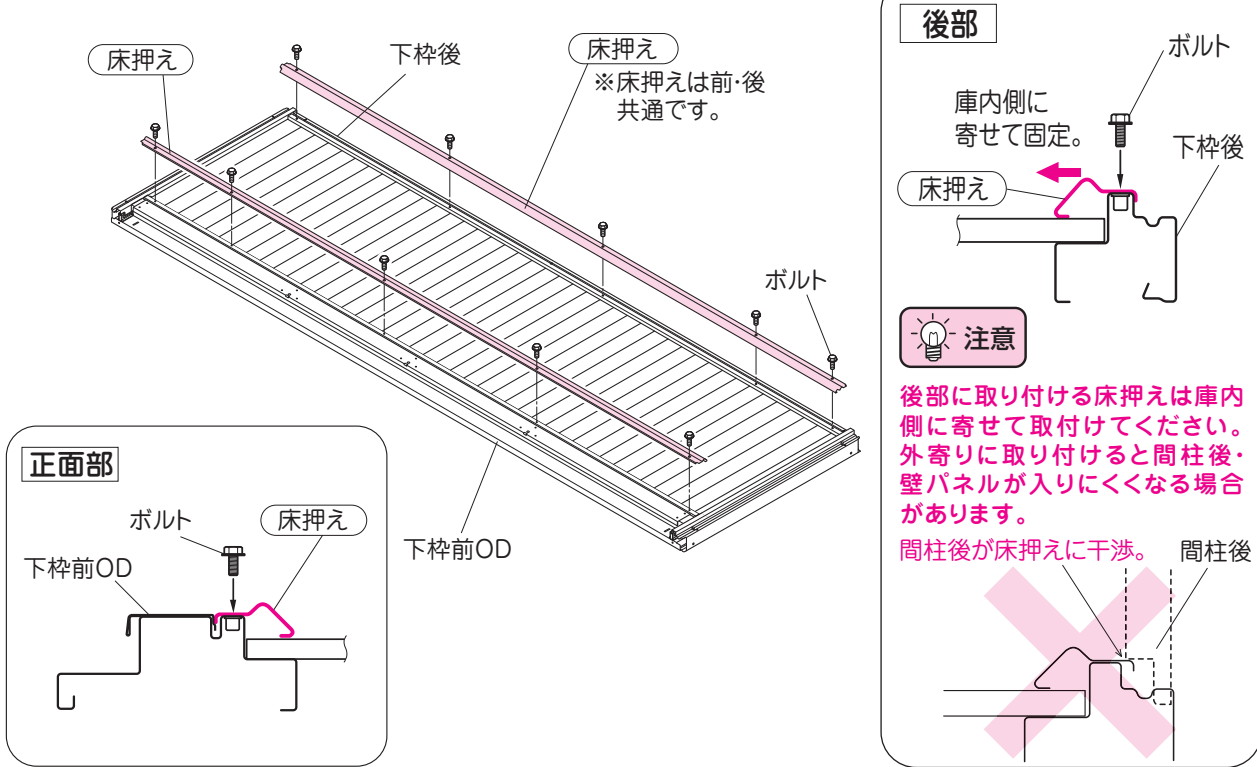
内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット(オプション)の説明書をご参照ください。



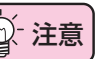
横に並べてそのままスライドさせてはめ込みます。

4 床押えの取付け

- ①(床押え)を下枠前OD・下枠後に取付けます。



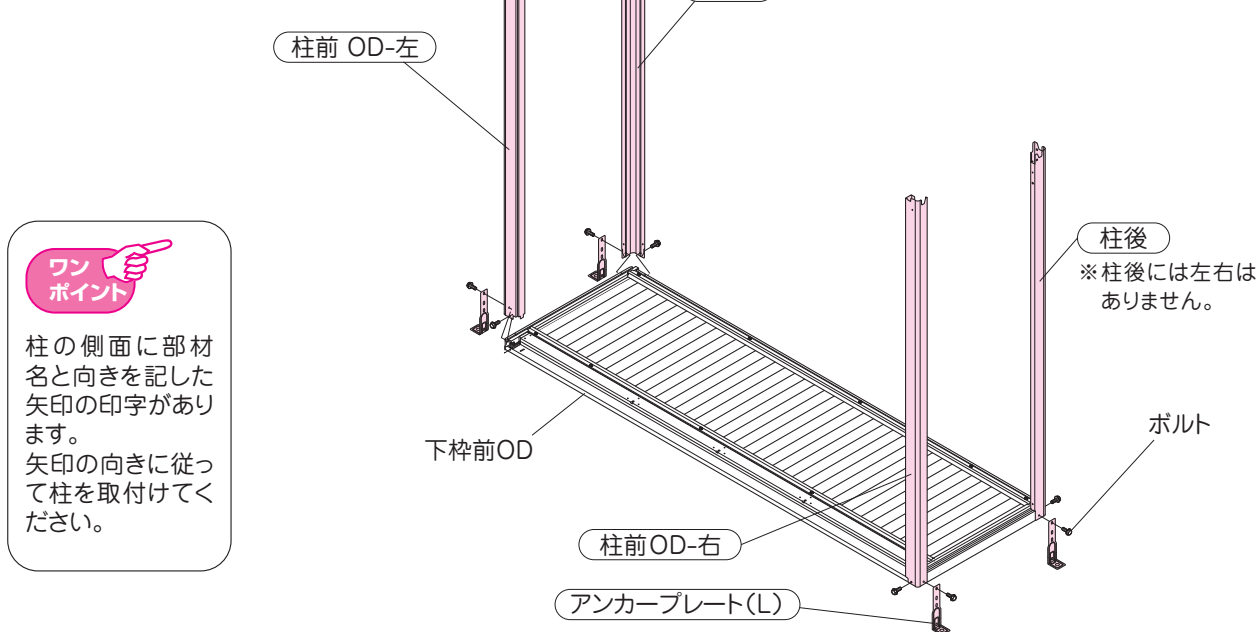
後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて固定。
※壁パネルが入らない場合は、扉がスムーズに動かない。
※扉がスムーズに動かない場合は、扉がスムーズに動かない。



後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取り付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。
間柱後が床押えに干渉。 間柱後

5 柱の取付け

- ①(柱前OD)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を側面にボルト止めします。



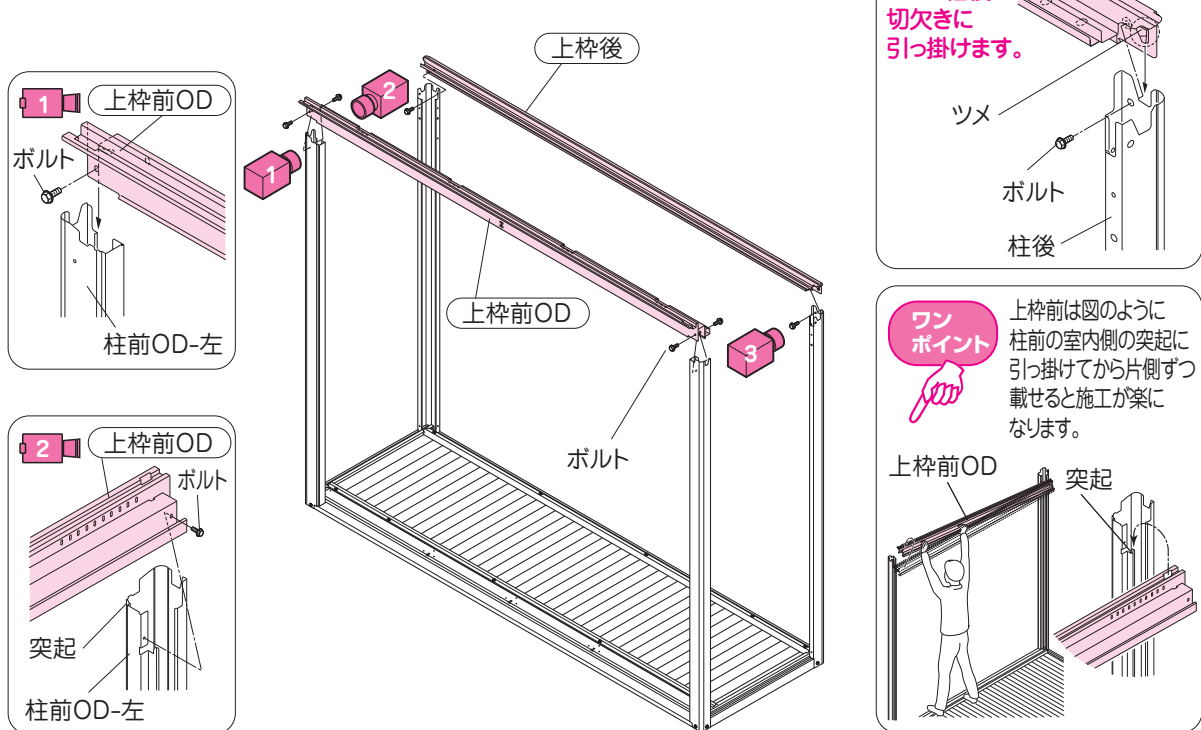
柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。



※柱後には左右はありません。

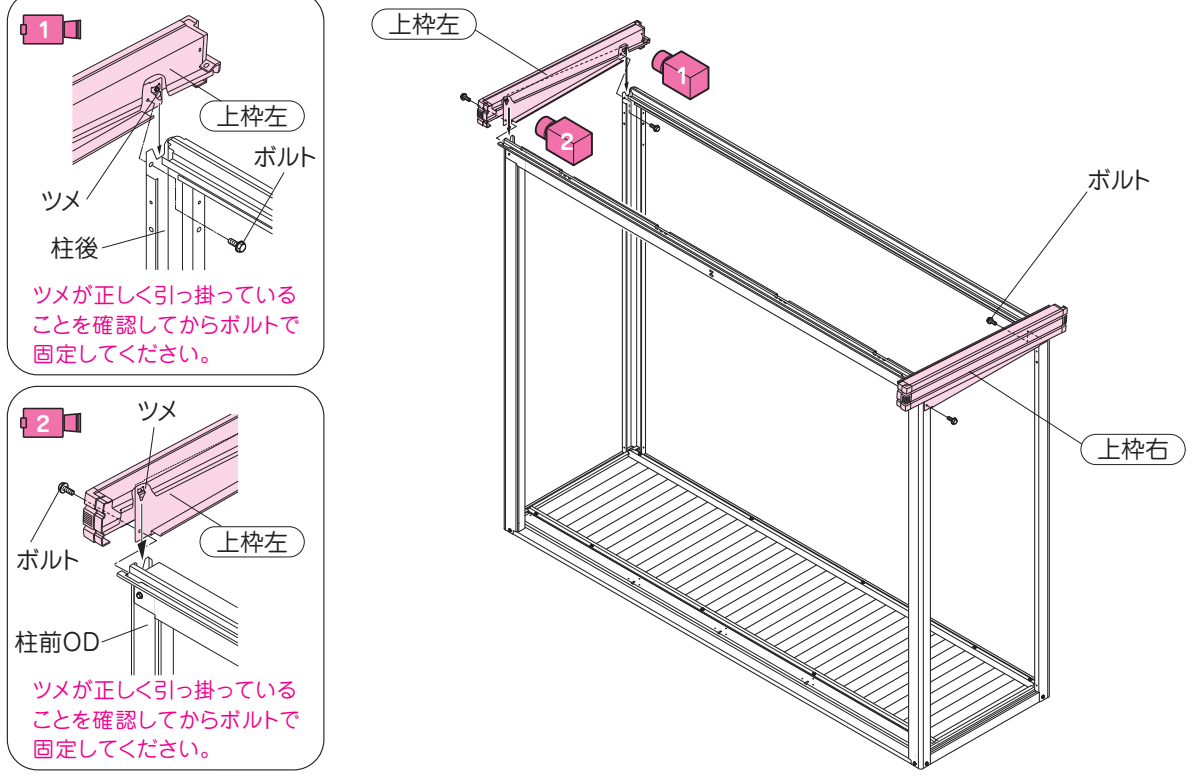
6 上枠前後の取付け

- ①(上枠前OD)を柱前ODの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



7 上枠左右の取付け

- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。



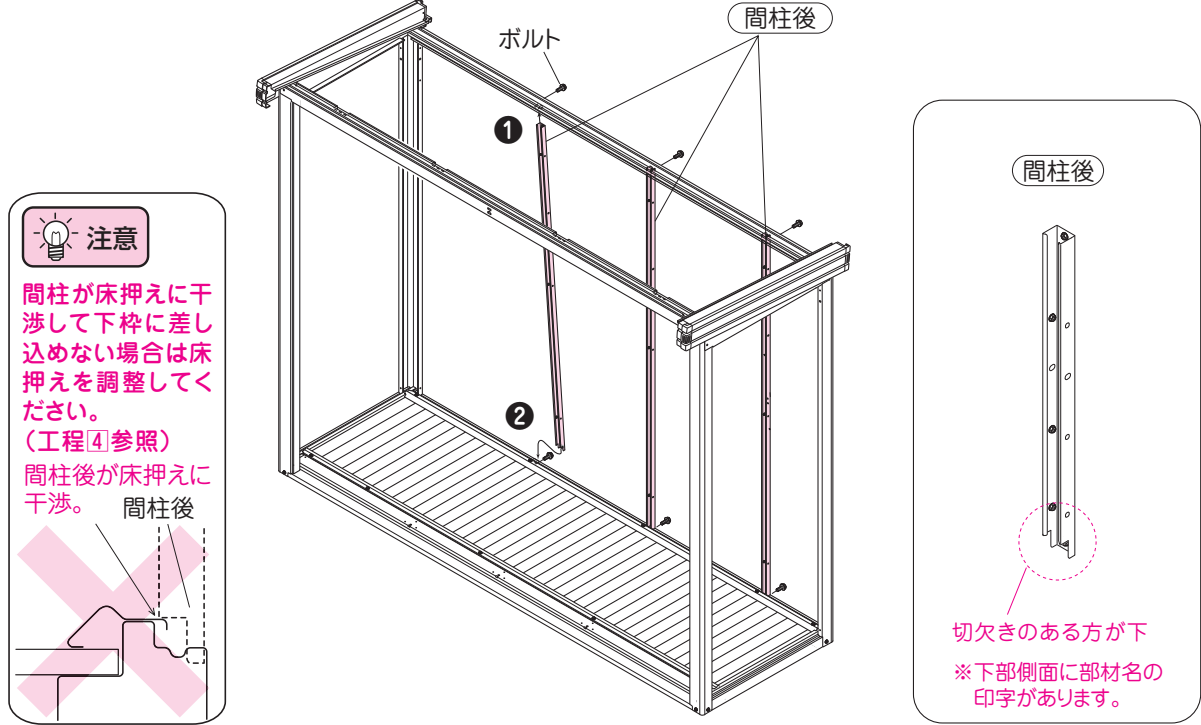
ツメが正しく引っ掛かっていることを確認してからボルトで固定してください。



※ツメが正しく引っ掛かっていることを確認してからボルトで固定してください。

8 間柱後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。



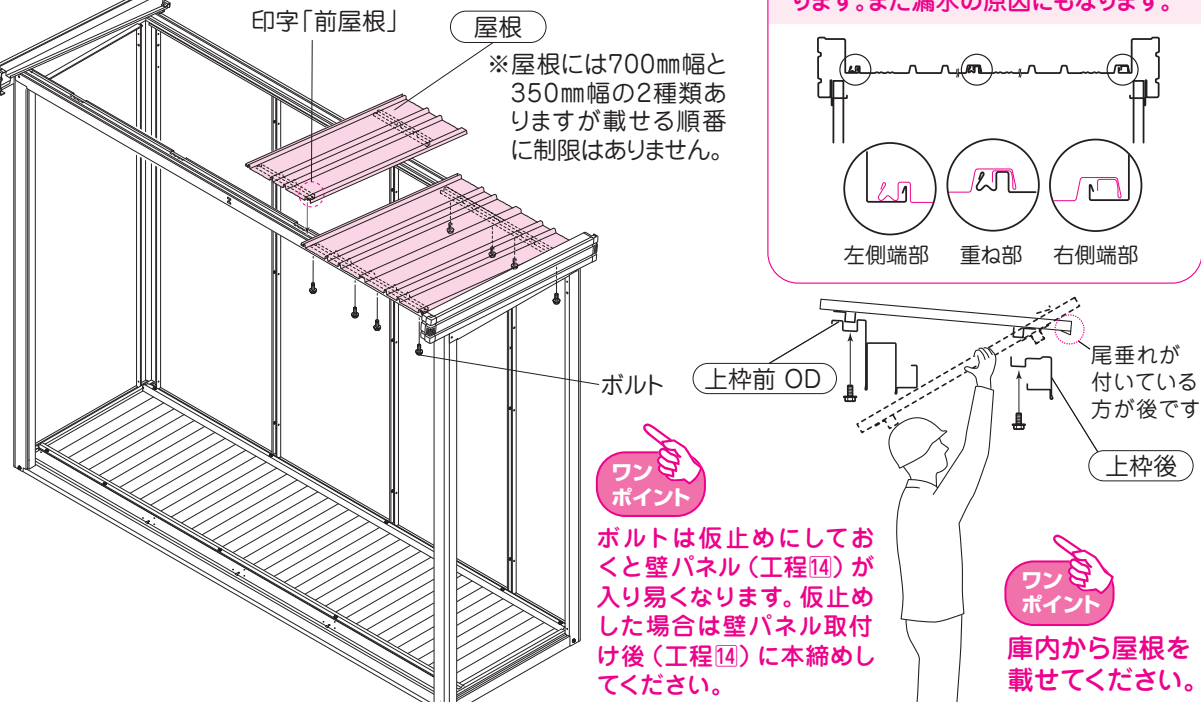
間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。
(工程④参照) 間柱後が床押えに干渉。 間柱後



切欠きのある方が下
※下部側面に部材名の印字があります。

9 屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後にボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



※屋根には700mm幅と350mm幅の2種類ありますが載せる順番に制限はありません。



ボルトは仮止めにしておくと壁パネル(工程⑭)が入り易くなります。仮止めた場合は壁パネル取付け後(工程⑭)に本締めしてください。



庫内から屋根を載せてください。

